

平成29年度

事業報告書

公益財団法人くにたち文化・スポーツ振興財団

目 次

事業の概要	(1)
Ⅰ. 公益事業	(1)
1. 市民の芸術文化振興の企画と実施事業(くにたち市民芸術小ホール)…	(1)
2. 郷土に関する文化の伝承と振興事業 (くにたち郷土文化館)	(4)
3. 市民のスポーツ及びレクリエーション振興の企画と実施事業 (くにたち市民総合体育館)	(5)
4. 共通公益事業 (総務課)	(6)
Ⅱ. 収益事業等	(6)
1. 付帯サービス事業	(6)
2. その他の事業	(7)
Ⅲ. 管理 (法人管理事業)	(7)
1. 役員及び役員会等に関する事業	(7)
事業の内訳	(8)
1. 自主・共催事業	(8)
(1) 市民の芸術文化振興の企画と実施事業	(8)
(2) 郷土に関する文化の伝承と振興事業	(1 2)
(3) 市民のスポーツ及びレクリエーション振興の企画と実施事業	(1 6)
(4) 市民の自主的な文化・スポーツ活動の奨励及び団体の育成事業	(2 0)
(5) 財団広報誌「オアシス」の発行等	(2 0)
(6) 総合評価	(2 2)
2. 指定管理事業	(2 4)
(1) 市民芸術小ホールの利用状況	(2 4)
(2) 国立市古民家を含む郷土文化館の利用状況	(2 6)
(3) 市民総合体育館の利用状況	(2 8)
(4) 有料公園施設等の利用状況	(3 0)
3. 管 理	(3 2)
(1) 役員及び役員会等に関する事業	(3 2)

事業の概要

公益財団法人くにたち文化・スポーツ振興財団は、定款の掲げた文化・スポーツ事業等を企画実施し、市民芸術小ホールなど3施設を中心とする管理・運営、諸活動を基本としながら、広く芸術・スポーツによるまちづくりに着手しております。

その際、次の3点を重要課題として位置付けました。

- 「くにたちアートビエンナーレ野外彫刻展」の開催のほか、地域の芸術活動団体、組織、大学等との連携を推進します。市の基本構想の実現に寄与するとともに、芸術文化事業を通じた「地域社会の絆の維持及び強化」や「共生社会の実現」など、「劇場、音楽堂等の活性化に関する法律」（以下「劇場法」という。）の趣旨に沿った公共ホール運営に努めてまいります。
- 考古資料の展示をはじめ、講演会等の充実を図り、くにたちを学ぶ機会を多角的に展開します。また、「城山さとのいえ」と連携して、南部地域の自然、文化、農事等に関連した事業を、市民協働を主体にして実施します。
- 小学生対象の事業を重点的に実施していきます。また、健康づくりの観点から、高齢者のスポーツ普及にも取り組んでまいります。

このような視点を持ちながら、平成29年度は以下のような事業を展開しました。

I. 公益事業

1. 市民の芸術文化振興の企画と実施事業（定款第4条第1号）（くにたち市民芸術小ホール）

ア. 芸術文化事業

芸術小ホールでは、芸術環境創造事業を12事業、芸術振興事業を15事業、その他を8事業の、計35事業実施しました。そのうち、くにたちアートビエンナーレ事業及び関連事業が5事業ありました。主催共催別では、主催24、共催11となりました。

また、外壁等改修工事は当初の計画から、平成30年2月より工事開始と変更になり、事業編成の見直しが必要となりました。

◎目標数等達成状況

平成29年度 利用者数 62,678名（目標値 68,000名）

（別に平成29年度から新たにカウントをした「憩い利用」が9,730名ありました）

連携協働団体・組織数 10団体・組織（目標値 3団体）

一般財団法人地域創造、国立音楽大学・国立音楽大学附属高校音楽科・同中学、清水調律所、JR東日本八王子支社事業部、（株）と、宇フォーラム美術館、上野信一&フォニックス・レフレクション、ヤマハミュージックジャパン、公益財団法人ポーラ伝統文化振興財団、ミュージカルアカデミー・ドリーム

（ア）芸術環境創造事業

「くにたちアートビエンナーレ2018第2回野外彫刻展」の実施を背景に、拠点施設を越えた地域に広がりある事業を実施しました。

また、国の文化芸術基本法の改正と市の文化芸術条例制定の取り組みを踏まえ、文化芸術を核とした様々な領域との連携と地域貢献の深化に取り組みました。

① 教育、福祉、まちづくりと連携した地域貢献事業

「くにたちアートビエンナーレ2018第2回野外彫刻展」は、富士見台地域を東西に結ぶ市道さくら通りの南側の植栽域の空きスペース各所に、公募選考を経て10点の野外彫刻作品を設置しました。大学通り緑地帯より手狭で、安全面でも難しい設置条件でしたが、全国から応募があり、慎重な選考を経て多彩な作品を設置することができました。実物作品の設置と最終選考に合わせて、オアシス臨時号を刊行して周知を図りました。しかし、第1回のように民間寄付を募ることができませんでした。

鼎談事業「くにたちトークグラウンド」を開催し、食文化・農・観光などを語り合い、地域との連携を深めました。地域創造の採択事業ともなっている公共ホール現代ダンス活性化事業では、桐朋中高出身の舞踏家田村一行氏によるワークショップと公演を行い、新たな観客層の開拓につながりました。歌う芸小ホールを南市民プラザに出張して、自治会行事と合同で実施しました。富士見台の芸術小ホールへ出かけにくい高齢者へ文化芸術による楽しみを届けることができました。Play me, I' m yours kunitachi 2018では、更に地域での事業を深め、市域を越えた広域にくにたちからの文化芸術を発信し、シティープロモーションにも貢献しました。たちかわ創造舎を拠点とする「シアター・オルト」による1日2公演の親子、児童向け小公演は、想定した親子間観客層へ定着がみられました。合わせて、立川市との事業連携への端緒を開きました。

② 学校教育との連携事業

Meet the Artist事業では、アートとスポーツをつなぐ縄跳びのサーカスパフォーマーを招き、子どもたちにユニークな体験と卓越した演技者の存在を伝えることができました。くにたちデビューコンサートは、国立音楽大学との連携が深まり、事業として定着してきました。一方で、一橋大学との連携は大学院言語社会研究科教員との個別的な連携が進みましたが、事業としては次年度以降の課題となります。

③ 地域の芸術文化資源を活用したまなび事業

地域の魅力ある講師による「市民一芸塾」は、3件を各5回程度実施しました。アトリエでの陶芸、音楽練習室での民族楽器ケーナ、ガムランを開講しました。

(イ) 芸術振興事業

国立市では(仮称)国立市文化芸術振興条例検討委員会を設置し、条例について検討が行われました。くにたち市民芸術小ホールでは、市民のニーズを調査しつつ、公演だけではなくワークショップやトークなどを伴う複合事業を実施して、芸術文化の鑑賞体験者などの拡充に努めました。ただし、鑑賞する施設としての認知度やより広域への広報活動に課題があるのか、市域を越えた集客ができていないことが明確になりました。

① 芸術文化の創造事業

コアプログラムとする打楽器系コンサート事業では、加藤訓子（マルチパーカッション）、鼓童（和太鼓）、タンブッコ（パーカッションアンサンブル）の各

種事業を実施しました。市出身の作家・詩人多和田葉子氏によるシリーズ公演では、第2回目として朗読パフォーマンス公演と鼎談「くにたちトークグラウンド特別編」を開催しました。

② 芸術文化の継承事業

財団設立30周年記念誌でも記事にまとめましたが、すたじお寄席から真打ち昇進を果たした若手落語家が「ホール寄席」で襲名公演を行いました。こうした勢いとブームから、すたじお寄席は完売が続き、36回公演は急遽夜公演も追加して行いました。フレッシュ名曲コンサートでは、公演に合わせて、一橋大学大学院言語社会研究科の小岩信治教授をトークゲストに招いての楽曲解説が行われ、理解が深まったと、演奏の高い質とともに好評を博しました。

③ 芸術文化の交流・支援事業

フレッシュ名曲コンサートにも出演経験がある実力ある若手を再び招き、若手音楽家と鑑賞者の交流をはかるスタジオコンサートの拡充版ともいえる「アリーナコンサート」をホールで開催しました。2回目となる「くにたち童謡歌唱コンクール」は、地域の音楽教室などとの連携をはかりながら、実施しました。

④ 創客、利用拡大事業

公益事業として無料、入場制限なしの「ランチタイムコンサート、ランチタイムステージ」を定期的で開催しました。出演希望者が多くなり、2ステージに分けて実施し、一度に多彩なステージを体験できる催しとなりました。

ホール利用の空き日を活用した「ホールとグランドピアノのシェアプログラム」は、毎月2日程度、全25日を開催しました。

好評な事業ですが、これらは、外壁改修工事期間は延期や縮小などの対応をとることとなりました。

(ウ) その他

スタッフ・ディベロップメント事業では、公文協の採択を受けて支援員が派遣され、文化芸術基本法の改正や自治体文化行政のこと、指定管理者制度のこと、そして地域の文化芸術の担い手の在り方などについて市職員も含めた合同の研修を行いました。その他、各職員の課題に応じて、舞台技術研修やアートネージメント研修に参加しました。

劇場の日連携事業として、「利用者懇談会」を試行実施しました。少数ながら利用者から運営の参考となる意見をいただき、事業への要望など懇談を行いました。意見聴取の方法は、市の第三者評価でも積極的に評価されました。

実行委員会参画事業

「くにたち音楽祭」、「吹奏楽フェスティバル」を例年通り開催しました。ファミリーフェスティバルやくにたちギャラリーネットワークとの連携による美術講座事業も開催しました。芸術小ホールと郷土文化館も加盟するくにたちギャラリーネットワークは、25周年記念として、「アート散策くにたち」と題するアートマップとギャラリーガイドを刊行しました。また、郷土文化館の支援で国立ゆかりの石

彫家関敏作品くにたちマップも発行しました。

イ. 指定管理事業（定款第4条第6号）

平成29年度の市民芸術小ホール施設の利用件数及び利用料収入総額については、前年度と比べて利用件数で8%減の1,289件、収入額で13%（210万円）減の15,040,360円となりました。減少の主な原因は、外壁改修工事の騒音による貸し出し制限（平成30年1月10日～3月31日継続中）をはじめ、野外彫刻展やPlay me, I'm yours kunitachi 2018に関わる主催事業利用増と、財団や市主催事業による利用増による、減免使用の微増（約45万円）によるものです。工事による、利用料収入の減少に関しては、修繕費の増大と合わせて、市との協議によりあらかじめ指定管理料で補填を受けました。

依然として、施設の老朽化にともなう修繕費は増加傾向にありますが、指定管理者が自主的に対応する小額修繕は尽くされてきており、設備更新等大型修繕を市との調整で計画的に進める段階にあります。

2. 郷土に関する文化の伝承と振興事業（定款第4条第2号）（くにたち郷土文化館）

郷土文化館では、自主事業42、共催事業2の合計44事業を実施しました。

事業内容は、常設展示事業4、企画展示事業5、資料収集・調査・研究事業9、講座事業10、市民が参加及び体験する事業として、郷土の伝統文化を学ぶ体験事業13、郷土の自然環境を学び体験する事業3となっています。

ア. 郷土文化館事業

（ア）郷土の歴史、民俗及び自然環境等に関する資料の収集、保存、調査研究、教育支援のための事業

① 展示事業

市制施行50周年を記念して刊行した写真集に掲載された写真の中から抽出し、現状写真と対比させて展示した「くにたち あの日、あの頃—写真に見る少し昔のくにたち—」、国立市所蔵の国立にゆかりのある作家、三浦小平二等の美術品を展示した「わたしたちのたからもの展」、市制施行50周年および財団創立30周年事業として、市内緑川東遺跡より出土した大形石棒4点等が国の重要文化財に指定されたことを記念して展示した「国指定重要文化財 緑川東遺跡出土 石棒展」、西野家文書より発見された多摩川絵図を修復し展示した「絵図からみる多摩川と用水」、市内の公立・市立の3年生を対象とした民具案内と連動した冬季企画展「むかしのくらし展」の5事業を実施して延べ10,000人を超える観覧者がありました。

④ 講座事業

それぞれの企画展に関連したワークショップ、見学会、講演会、鑑賞会等を開催し、展示テーマへの関心を高める機会としました。

（イ）市民が参加及び体験する事業

① 郷土の伝統文化を学ぶ体験事業

伝統行事など、市民が主体になり楽しむ事業を展開しました。市内の公私立小

学校の3年生を対象にした恒例の民具案内は、平成29年度も公立小学校8校、私立小学校3校の合計11校、800人近くの児童生徒を迎えることができ、冬季企画展「むかしのくらし展」の見学と合わせ、郷土の歴史と民俗を体験的に知る機会となりました。また、古民家を活用した伝統行事や体験事業も、古民家見学者や事業参加者の輪を広げ、郷土の魅力を再発見する役割を果たしました。

②郷土の自然環境を学び体験する事業

市内NPOの協力をいただき、主に小学生を対象に、体験や観察を主体とした事業を実施しました。

イ. 指定管理事業（定款第4条第6号）

平成29年度の郷土文化館の入館者数は19,943人で平成28年度と比較して286人、1.4%の微減となりました。また、平成29年度の古民家の見学者数は12,446人で平成28年度と比較して566人、4.8%の微増となりました。

郷土文化館・古民家の施設・設備等の利用料収入は、平成29年度は1,263,600円で、平成28年度と比べ81,200円、5.9%の微減となっております。なお、市主催事業の減免措置については、5.2%の微増となっております。事業収入等の状況は、平成29年度は1,101,270円で、平成28年度と比べ535,920円、94.8%の増となっております。これは、市制50周年を記念して刊行した写真集の売上げに拠るものです。

ウ. 市内遺跡整理調査業務受託事業（定款第4条第5号）

市内遺跡整理調査業務受託事業として、国立市から平成28年度市内遺跡緊急調査の整理及び報告書の作成業務を受託し、完成させました。

3. 市民のスポーツ及びレクリエーション振興の企画と実施事業（定款第4条第3号）

（くにたち市民総合体育館）

ア. スポーツ及びレクリエーション活動の振興事業、市民が参加及び体験する事業

総合体育館では、自主事業20件、共催事業4件、他組織の事業への協力が1件で合計25事業を実施しました。このうち新規事業は「小学生ボルダリング体験会」と「ボディメイク講座」でした。このほか「小学生ウエイトリフティング体験会」を企画しましたが、応募者がいませんでした。

また、国立市体育協会との共催事業では、5月5日こどもの日に第27回ファミリーフェスティバル（参加者・11,551人、14.1%増）を、10月9日体育の日に第27回くにたウォーキング（参加者・617人、8.4%増）を、3月31日にスポーツ教育講演会（参加者・247人、79.0%増）を開催しました。また、ダンスコレクション実行委員会と共催で第28回ダンスコレクション（471人、9.6%減）を開催しました。

イ. 指定管理事業（定款第4条第6号）

総合体育館利用者数（南市民プラザトレーニング室を含む）は個人が121,111人（1,504人、1.3%の増）、団体が80,844人（2,525人、3.0%の減）でした。体育室は個人が増、団体が減で合計1,103人、1.2%の減少でした。トレーニング室は4,245人、9.0%の増でした。室内プールは個人・団体とも減少し、合計で3,265人、7.2%の減でした。グリーンパスの利用者数は34,404人で、平成28年度と比較して793人、2.3%の減でした。また、平成28年度から体育館利用を促進するために無料利用券を発行していますが、この利用者は412人でした。

総合体育館（南市民プラザトレーニング室を含む）の個人及び団体利用の利用料収入は35,873,640円で、平成28年度と比べて339,725円、1.0%の増収でした。このうちグリーンパス利用者の収入が4,979,080円ありました。

有料公園施設等の利用状況は、3箇所あるテニスコートは、27,939時間、利用率は70.9%、3箇所の野球場は、6,553時間、利用率は44.5%、サッカー場は、1,564時間、利用率は、42.1%でした。利用料収入は、テニス、野球、サッカーの合計で、19,331,550円で、平成28年度と比較して1,360,250円、6.6%の減でした。

ウ. 特定保健指導における運動継続支援業務受託事業（定款第4条第5号）

国民健康保険が実施する特定保健指導における運動継続支援業務を国立市から受託し、40歳から65歳の市民を対象として健康増進に寄与しました。利用者数は延べ974人となり、平成28年度と比べて利用者数は275人、39.3%の増になりました。

4. 共通公益事業（総務課）

ア. 市民の自主的な文化・スポーツ活動の奨励及び団体の育成事業（定款第4条第4号）

市民団体等からの申請にもとづき、助成選考委員会にて厳正な審査を行った結果、市民団体が実施している事業で、広く市民に公開し、市民的意義の大きい「第41回ふれあいスポーツのつどい」など10事業に助成しました。

・助成団体 10団体 ・助成金額 1,287,000円

イ. 財団広報紙「オアシス」の発行等事業（定款第4条第7号）

各館の事業を中心に、年6回隔月に財団広報紙「オアシス」を発行し、市内全世帯に配付するとともに、広く財団の事業内容などをお知らせするため、ホームページに掲載しました。平成29年度は、アートビエンナーレ事業関連で「オアシス臨時号」を追加で発行しました。また、ITの専門家を配置し、ホームページの内容の充実、こまめなりリニューアルに努めました。

ウ. 指定管理事業（定款第4条第6号）

総務課は、各館の指定管理事業に関わる予算編成、予算執行管理等を適正に行いました。

II. 収益事業等

1. 付帯サービス事業（定款第4条第2項）

ア. チケット販売事業

市民芸術小ホールを借りて利用する団体等から受託して、受託販売手数料を得て、音楽・演劇等のチケットを販売しました。

・平成29年度の受託団体数 8団体 ・受託販売手数料 23,400円

イ. 飲料水等販売事業

①市民芸術小ホール来館者への付帯サービスとして、飲料水等自動販売機を設置し、販売しました。

・平成29年度の販売額 512,829円 ・販売数 12,993本

②郷土文化館来館者への付帯サービスとして、ショーケースを設置し、健康飲料水等を販売しました。

- ・平成29年度の販売額 154,825円
- ・平成29年度末棚卸額 5,727円

ウ. グッズ等販売事業

郷土文化館来館者への付帯サービスとして、特別展等で販売した記念グッズ（手ぬぐい、バッジ等）を中心に関連商品を販売しました。

- ・平成29年度の販売額 131,200円
- ・平成29年度末棚卸額 1,338,449円

エ. 体育用品の販売事業

総合体育館の施設利用者への付帯サービスとして、ピンポン球、バドミントンシャトル、水泳帽、ゴーグル等の体育用品を販売しました。（平成28年度比 50,460円、12.4%の減）

- ・平成29年度の販売額 357,050円
- ・平成29年度末棚卸額 125,029円

2. その他の事業

ア. 公益事業外の施設貸与事業

市民芸術小ホール施設及び市民総合体育館の施設利用について、国立市との協定に基づき、その他の施設貸与事業として、幼稚園、学校等の卒業式等への貸付、敬老大会・成人式等への貸付を行いました。

Ⅲ. 管理（法人管理事業）

1. 役員及び役員会等に関する事業（定款第4条第7号）

理事会、監査、評議員会を、定款に基づき開催しました。

- ・理事会 4回
- ・評議員会 3回
- ・中間監査 1回、決算監査 1回

以上が、平成29年度公益財団法人くにたち文化・スポーツ振興財団の事業の概要です。今後の財団運営に当たっては、市民参加の事業展開を図り、効率的な経営を目指して、一層の努力をしてまいります。

事業の内訳

1. 自主・共催事業

(1) 市民の芸術文化振興の企画と実施事業（定款第4条第1号）

〔市民芸術小ホール〕（決算額 39,004,379 円）

(ア) 芸術環境創造事業

①教育、福祉、まちづくり連携による地域貢献事業

計画事業 通し番号	報			
	事	業	名	開催形態
○ △	1	くにたちアートビエンナーレ2018 第2回野外彫刻展	自主	8月1日～3月29日
○ ● △	2	くにたちトークグラウンド 特別編 くにたちトークグラウンドvol.02	自主	11月11日（日） 2月27日（火）
○	3	大駱駝艦田村一行舞踏公演「存在と時間」+ワークショップ	自主	12月24日（日）
●	4	なつかしき歌声ひろばinくにたち南市民プラザ	自主	10月29日（日）
○	5	くにたち芸小123&◎シアター 「長靴をはいたネコ」、「西遊記～悟空のぼうけん～」、「ブレーメンの音楽隊」	自主	6月28日（水） 8月23日（水） 10月9日（祝）
○ ● △	6	PLAY ME, I' M YOURS KUNITACHI 2018	自主	3月16日～31日
●	7	ミレア・サンパー アイスランド現代美術家展 大いなる循環	共催	10月5日～11月5日

②学校教育との連携事業

○	8	Meet the Artist	自主	8月26日、10月14日、12月13日、1月20日、2月10日、2月17日
△	9	くにたちデビューコンサート [アワード] vol.06 下払桐子（フルート）&フレンズ [アワード] Vol.07 三浦麻葉 ハープの名手と名曲たち	自主	7月28日（金） 9月6日（水）
		くにたちデビューコンサートvol.08 Bartók×Bartók バルトーク室内楽の多面的世界		2月18日（日）
●	10	一橋大学(小岩信治研究室) 連携 音楽書でたどる実演芸術の世界	自主	—
○	11	次世代の音楽人材育成事業 パーカッション・アカデミーinくにたち2017	共催	8月18日～20日

③地域の芸術文化資源を活用したまなび事業

○	12	市民一芸塾 春「手びねりで作るテーブルウェアとフラワーベース」、秋「はじめてのケーナ演奏」、冬「みんなで叩こう、バリ・ガムラン」	自主	春5月16日～ 秋9月20日～ 冬11月6日～
---	----	--	----	-------------------------------

(イ) 芸術振興事業

①芸術文化の創造事業

	13	inc.percussion day 2017 in くにたち	共催	3月31日（金）～4月2日（日）
○	14	鼓童 交流公演2017 阿部好江ワークショップ	共催	9月10日（日） 9月9日（土）
	15	多和田葉子 複数の私vol.02 高瀬アキを迎えて 朗読パフォーマンスの軌跡	自主	11月12日（日）
○ ●	16	パーカッション・アンサンブル タンブッコ	自主	11月11日（土）

○ こどもおすすめ事業

・番号欄網掛け アートビエンナーレ事業関連

☆ 協賛事業

△ 文化庁助成申請事業

● 新規事業

告 事業内容及び説明	入場料等 (円)	入場者数 人 (定員)
第2回野外彫刻展を実施した。8月から公募エントリーを開始し、1次選考に49作品が出品し、10作品を選出した。実物作品10点より、最終選考で大賞、準大賞、優秀賞計5点を選考し、表彰しました。	審査料 5,000円 (49作品)	1,002
多和田葉子複数の私vol.02のアフタートークとして、一橋大学の鶴飼哲教授を招き多和田葉子氏、高瀬アキ氏との鼎談を同時開催。Vol.02は食文化をテーマに、くにたち村酒場を会場に実施。エコール辻、エマリコくにたちから、地域の識者に登壇していただきました。	無料	(207) 15
一般財団法人地域創造「公共ホール現代ダンス活性化事業」として実施。現代ダンスを通じて創造的・文化的な芸術活動の環境づくりに寄与することを目的に、舞踏家田村一行氏が出演。インパクトあるビジュアルと国立オリジナル創作作品で新たな境地を拓きました。	一般 2,500円 学生 1,000円 WS 500円	117 (270) 23 (25)
日頃芸小ホールまで来ることが少ない南部地域在住の中高年を対象に、自治会と連携して参加型イベントを提供しました。天笑楽のリードで声を合わせて歌う楽しさを体験していただきました。	無料 歌集 200円	70
乳幼児・子どもとその保護者世代を意識し芸術に親しむ機会をつくる。演目は同じだが、◎シアターは放課後に児童向け、123シアターは午前中に乳幼児おやこ向けに設定。1回目のみホール無料公演として開催しました。	大人 400円 乳幼児 無料 子ども 200円	37 (302) 66 72 54 63
寄贈された10台のピアノを自由に装飾して、市内10箇所を設置するアートイベント「PLAY ME, I' M YOURS KUNITACHI 2018」を開催しました。ピアノ設置箇所の運営をボランティアに支えてもらい、多くの来場者に事業を体験していただきました。	無料	59,500
世界的に活躍しているアイスランドの現代美術家、ミレヤ・サンパー (Mireya Samper) 氏の個展を開催しました。宇フォーラム美術館と共催し、くにたちアートビエンナーレ2018の関連事業としました。	一般 500円 学生/会員 無料	258

今年度は、福祉施設でコンテンポラリーダンス、小学校で低学年に縄跳び(サーカス)、パントマイム、特別支援学級に落語、父母会行事で落語、児童館でパントマイムの6件を実施しました。	無料	386
国立音楽大学出身の優れた若手音楽家によるコンサートシリーズ。卓越した実績の音楽家の推薦を受けて、グレードを高めた「アワード」として実施しました。メインの音楽家として下払桐子氏(フルート)、三浦麻葉氏(ハープ)の推薦を受けました。	一般 2,000円 学生 1,000円	103 (270) 172 (270)
副専攻として、コンサート制作を学ぶアートマネジメントコース4年生が修了公演も兼ねて企画制作と運営にあたりました。ホールの個性を踏まえたバルトークの「2台のピアノと打楽器のためのソナタ」を中心に、バルトークの室内楽コンサートを構成しました。	共通 1,000円	80 (270)
フレッシュ名曲コンサートに、小岩信治教授がトークゲストで出演することになり、事業を糾合しました。	—	—
国立音楽大学および国立音大付属高校の教員をメンバーとする「上野信一&フォニックス・レフレクション」に監修と指導者派遣の協力を得て、中高生向けの基礎分野を重視した打楽器講習会事業を実施しました。	受講料 16,000円 公演2回券 1,000円 学生 無料	75

春の市民一芸塾は陶芸、秋はケーナ演奏、冬はバリガムランを体験する講座を各5回程度で開催しました。	受講費 2,000円	24 (75) 83 (100) 80 (125)
--	------------	---------------------------------

世界的に活躍する打楽器奏者・加藤訓子氏によるリサイタルを核に、彼女の元集うプロとしての飛躍を目指す若い打楽器奏者によるミニコンサートと講習の複合事業を実施しました。	通し券 10,000円 リサイタル 5,000円 から1,000円	612
現代和太鼓アンサンブルとして国内外で活躍する鼓童による地域交流公演(2回)と、市出身の鼓童音楽家阿部好江氏による乳幼児おやこ向けワークショップを行いました。	おとな 2,800円 子ども 500円 ペア券 5,000円 WS 300円	231 (270) 203 (270) 16 (20)
国立市出身の小説家・詩人の多和田葉子氏を迎えての講演シリーズ第2回目。今回は、長く継続している高瀬アキ氏(ピアノ)との朗読パフォーマンスを紹介しました。一橋大学の鶴飼哲教授を招きアフタートークも行いました。(市制50周年、財団30周年事業)	共通 500円	207 (270)
ホールのコアプログラムと位置づける、打楽器音楽の鑑賞系事業として実施。来日公演の回数も多いメキシコのパーカッショングループ「タンブッコ」の来日巡回公演を実施しました。(市制50周年、財団30周年事業)	一般 3,000円 学生 2,000円 ペア券 5,000円	80 (270)

②芸術文化の継承事業

計画事業 通し番号	事業 名	自主・共催	実施日・期間
17	フレッシュ名曲コンサート（室内楽） 「西村翔太郎ソロ・ピアノ・リサイタル」	共催	11月26日（日）
18	くにたち芸小ホール寄席 立川志らく、立川志らべ、立川らく次	自主	12月2日（土）
19	くにたち芸小こども寄席 その7	自主	7月24日（月） 7月26日（水）
20	芸小シネマ&トーク 映画「鬼来迎 鬼と仏が生きる里」 講演「民俗芸能のオニが教えてくれること」	自主	1月27日（土）
21	くにたち市民オーケストラ ニューイヤーコンサート2018	共催	1月7日（日）

③芸術文化の交流・支援事業

●	22	アリーナコンサート「春の調べ～珠玉の名曲と共に～」	自主	4月30日（日）
○ △	23	2017 くにたち童謡歌唱コンクール	自主	10月8日（日）
	24	スタジオコンサート Vol. 86 「Summer Romance ～珠玉の名曲で綴る夏の日の恋物語～」 Vol. 87 「土の音色♪オカリナカルテット [ARPEGE] ～心地よい音を求めて～」 Vol. 88 「晩秋の調べ～ヴァイオリンとピアノによるフランス音楽のひとつ～」	自主	6月18日（日） 7月9日（日） 11月5日（日）
	25	すたじお寄席 第34回-36回	自主	6月4日（日） 9月3日（日） 3月4日（日） 昼夜

④創客、利用拡大事業

○	26	ランチタイム・コンサート 全8回	自主	4/19 5/17 6/14 7/19 8/16 9/20 10/18 11/15
		サマータイムコンサート クリスマスコンサート	自主	8/16「サマータイムコ ンサート」 12/20「クリスマスコ ンサート」
○	27	ホールとグランドピアノのシェア・プログラム	自主	全25日

(ウ)その他

①自主事業、連携事業企画調査

	28	スタッフ・ディベロップメント事業 「劇場・音楽堂等への芸術文化活動支援 支援員の派遣」	自主	9月26日（火） 10月31日（火） ほか通年
	29	公文協、地域創造、オリンピック文化プログラム調査、劇場の日連 携事業 利用者懇談会	自主	6月27日（火） 6月28日（水）
	30	その他事業（オアシス、助成、ポスター掲示、観まちバナー広告、消火栓広告、 くにたちポイント、事業報告書）	自主	通年

②実行委員会参画事業

○	31	第42回 くにたち音楽祭	共催	6月11日（日）
○	32	第24回国立市吹奏楽フェスティバル	共催	9月24日（日）
○	33	ファミリーフェスティバル（ファンファーレ、春風コンサート、呈 茶、エントランスコンサート）	共催	5月5日（祝）
	34	ギャラリーネットワーク連携事業 連続美術講演会「あなたの中にも流れる琳派の美意識」	共催	通年 10月15日（日） 10月28日（土） 11月11日（日）
○	35	わくわく子どもフェスタ	共催	2月25日（日）

告 事業内容及び説明	入場料等 (円)	入場者数 (人)
第14回東京音楽コンクールピアノ部門2位と聴衆賞を受賞した西村翔太郎氏によるソロ・ピアノ・リサイタルを行いました。一橋大学の小岩信治教授によるレクチャー・トークを挟むなど、親しみやすく実施しました。	一般 2,000円 学生 1,000円	155 (270)
11年目を迎えた「すたじお寄席」から、志らべ、らく次の真打昇進が決まり、襲名披露も兼ねたホール寄席を開催しました。師匠の立川志らくを中心にそれぞれが噺を披露し、襲名の口上も行いました。	共通 3,500円	177 (336)
伝統芸能の一つ落語に親しむ体験型講座を開催しました。落語家の指導を受けて、人前で短い噺を披露する落語会を行いました。希望者が多くなったため2日間の開催としました。	参加費 500円 見学費 500円	体験 28 (30) 見学 47
(公財) ポーラ伝統文化振興財団が制作した映画「鬼来迎 鬼と仏が生きる里」(2013年、カラー38分)の上映と、関連講演「民俗芸能のオニが教えてくれること」(講師・川崎瑞穂 音楽学博士、国立音楽大学助手)を行いました。ホールの大画面でプロジェクター機材を活用し上映しました。	無料	73 (270)
恒例のくにたち市民オーケストラによる、ウィンナーワルツを中心としたニューイヤーコンサート。指揮：松川智哉氏 曲目：「ワルツ 南国のバラ」「ドビュッシー 小組曲」「喜歌劇 こうもり序曲」などを演奏しました。	1,000円	250 (270)

フレッシュ名曲コンサートにも登場した音楽家の成長をたどる事業として、チェロの笹沼樹氏、ヴァイオリンの盧佳那氏、ピアノの山西遼氏ら三人の若手による春らしいプログラムのコンサートを開催しました。ステージ近くにも座席を配置し、親しく鑑賞できる客席としました。(市制50周年、財団30周年事業)	一般 2,000円	137 (270)
地域で童謡歌唱を指導するミュージカルアカデミー「ドリーム」の監修で行う童謡歌唱の小規模コンクール事業を実施しました。こども・おとな・ファミリーの3部門で行い、一次審査を通過した26名と6組が、はいだしょうこ氏が司会するコンクールで歌唱を披露しました。くにたちアートビエンナーレ2018の関連事業としました。	参加費 無料 入場料 無料	参加 51 鑑賞 142 (336)
スタジオで、音楽を身近に体験するコンサートを開催しました。オペラ・オペレッタの団体Y's companyによるオペラガラコンサート、芸塾講師もされた山本千恵子氏らによるオカリナアンサンブル、そしてDuo Irisによるヴァイオリンとピアノ二重奏のコンサートを開催しました。	1,000円	48 78 62
真打ち昇進を目指す若手落語家の話芸を聴き、若手の成長を応援する定例落語会を開催しました。真打ち昇進者を輩出し、人気が定着したため、3月の回は夜間にも追加公演を行いました。	1,500円	34回：63 35回：69 36回：73 追加：50

入場無料、入場制限無しで公益事業として、第三水曜日昼に開催しました。前年12月頃に出演者を公募して、事業を調整するが、市民等の出演希望が多くなったため、1回2ステージとして、多くの希望グループが出演できるように調整しました。	無料	80 80 65 90 70 80 90 90
8月16日の夕方に、「サマータイムコンサート」、12月20日の夕方に「クリスマスコンサート」を開催しました。ランチタイムコンサートの出演希望団体から、各3グループに出演していただき、多彩な音楽を来場者にお楽しみいただきました。	無料	69 60
ホール利用の予約がない平日に、ホールとコンサートグランドピアノの利用を1時間単位で分かち合う利用体験事業を、利用促進事業として実施しました。	1時間2,000円 2台ピアノ1時間 3,500円	268

職員研修の一つとして公文協の公募事業「劇場・音楽堂等への芸術文化活動支援 支援員の派遣」の採択を受けました。その他、職員の課題に応じて、舞台技術セミナー、アートマネジメント研修等に参加しました。	無料	29 5
公文協など関連団体の例会等に参加し、連携や情報収集を図りました。また、芸団協など唱導する劇場の日については、◎シアターの開催を無料開催した他、利用者懇談会を開催しました。	無料	2 302
ビエンナーレ特集として、財団広報誌オアシスの臨時号を刊行しました。消火栓広告、観光まちづくり協会ホームページへのバナー広告の出稿、くにたちポイントなど利用者サービスを行いました。観光まちづくり協会とはくにたちをロケ地に撮影した映画「四月の長い夢」の試写会も行いました。	—	—

19団体450名が出演し日頃の成果を発表し交流しました。参加団体が参画する実行委員会による運営と、合同演奏などの企画を通じて団体間の交流が図られています。	無料	450 500
市内で活動する中高、市民の吹奏楽団体による合同演奏会。7団体230名が出演。市民団体が中高の生徒をまとめ実行委員会形式による自主的な運営を行い、合同演奏や各団体の演奏で市民に対して地域の音楽活動を紹介しました。	無料	230 500
ホールでの国立三中OB吹奏楽団による演奏、野外での都立五商OB吹奏楽団の出演による演奏会、エントランスでのけん玉パフォーマンスショー、お茶会を開催しました。	無料	450 30 300
芸術小ホール、郷土文化館も加盟する市内で営業している画廊の連絡協議団体が、市民向け公益事業を開催しました。くにたちギャラリーネットワーク25周年事業として3回シリーズの美術講座の他、記念のギャラリーガイドやアート散策マップを刊行しました。	無料	251
立川子ども劇場くにたち支部などが実行委員会を組織して、子ども向けの様々な事業を行いました。ホールでのマジックショー、仕舞(能)体験、エントランスでのマリリンコンサート、ギャラリーでのコマの大道芸、くにたちカルタなどの様々な遊びを行いました。	無料	539

(2) 郷土に関する文化の伝承と振興事業（定款第4条第2号）

〔郷土文化館〕（決算額 28,300,969 円）

ア. 郷土の歴史、民俗及び自然環境等に関する資料の収集、保管、展示、普及のための事業

①展示事業

・常設展示

実施事業 通し番号	報 業 名	自主・共催	実施日・期間
1	くにたち郷土文化館常設展示	自 主	通 年
2	ハケと用水の魚類展示	自 主	通 年
3	ハケに生きる鳥類展示	自 主	通 年
4	エコロジー&アメニティ空間創出事業	自 主	通 年

・企画展示

5	春季企画展 写真展「くにたち あの日、あの頃-写真に見る少し昔のくにたち」	自 主	4月22日～6月4日
6	夏季企画展 国立市所蔵美術作品展「わたしたちのたからもの展」	自 主	7月1日～9月3日
7	秋季企画展 「国指定重要文化財 緑川東遺跡出土 石棒展」	自 主	10月7日～12月10日
8	冬季企画展 「むかしのくらし展」	自 主	1月12日～3月12日
9	寄贈資料紹介展示 ミニ展示「絵図からみる多摩川と用水」	自 主	1月12日～3月12日

②資料収集・調査・研究事業

10	企画展準備に伴う資料収集及び調査・研究事業	自 主	通 年
11	西野家資料整理	自 主	通 年
12	収蔵庫の民具資料整理	自 主	通 年
13	個人寄贈などの資料整理	自 主	通 年
14	図書等の資料整理	自 主	通 年
15	写真資料整理	自 主	通 年
16	地域資料等の購入・収集及び調査・研究事業	自 主	通 年
17	自然科学資料の収集・整理及び調査研究事業	自 主	通 年
18	調査・研究の書籍刊行事業	自 主	通 年

③講座事業（教育・普及事業）

19	春季企画展関連座談会 「写真集編さんウラ話 - まちの歴史を訪ねて - 」	自 主	5月28日
20	学習講座 わたしたちのまちくにたちを知る 「田んぼや湿地が育む水生植物」	自 主	7月9日
21	学習講座 わたしたちのまちくにたちを知る 「本田覚庵の医療記録を読む」	自 主	8月27日

告	入場料等 (円)	入場者数 (人)
事業内容及び説明		
「多摩川が育んだ段丘（ハケ）とともに生きる私たち」をテーマとした常設展示を行いました。	—	延 19,943
東京農工大の研究室とNPO国立市動物調査会の指導を得て、ハケ下の水路や府中用水の魚類を中心に展示しました。	—	—
ハケ周辺で見られる鳥類について、事故死した個体を剥製標本にし、館内に展示しました。	—	—
来館者が地球温暖化や省エネについて考えるとともに、くつろげる空間づくりを施設整備（ハード）、職員の接遇（ソフト）の両面を行いました。	—	—

市制施行50周年を記念して出版した写真集の中からリストアップし、当時の記事や現状を撮影した写真等も併せて展示し、身近な画像媒体としての写真の資料的価値に注目してもらえるように配慮しました。	—	延 1,331
国立市にゆかりのある作家美術品を展示し、来館者に美術作品に親しみ芸術への知識や理解を深めて頂く機会としました。	—	延 1,670
市内緑川東遺跡より出土した大形石棒4点が、国の重要文化財に指定されたことを記念して郷土文化館収蔵考古資料、および近隣自治体より提供いただいた考古資料を展示・紹介しました。	—	延 2,229
館所蔵の民具を展示し、昔のくらしや道具についての知識を深める機会としました。民具案内で来館した小学生に展示解説を行いました。	—	延 2,392
西野家文書より発見された多摩川絵図を修復した資料(約5m)を初公開し、当館が所蔵する多摩川及び用水に関連する絵図を展示しました。	—	延 2,392

将来の企画展示に向けての準備として、国立市に関する資料の収集及び調査・研究を行いました。	—	—
西野家より寄贈された資料（美術品、写真、民俗資料等）の整理を行いました。	—	—
収蔵庫の民具資料を再調査し、データ化を推進しました。	—	—
館に寄贈された資料の整理を行いました。	—	—
寄贈図書等の資料整理を継続し、中央図書館のシステム上で検索可能なデータベース化を行いました。	—	—
市役所広報担当撮影写真のデジタル化を推進し、春季企画展で公開すると同時に、一部をホームページ等で紹介しました。	—	—
地域資料の購入を含めた収集活動及び地域史に関する調査・研究を行いました。	—	—
館のテーマである「ハケ」に関連する植物や昆虫などの自然科学資料の収集、整理、調査、研究を行いました。	—	—
企画展示の図録、研究紀要など、調査・研究の成果を刊行しました。	—	—

写真集編さんにあたり、掲載写真の選定から現地踏査、キャプションの執筆など、編集にかかわった方々に登壇してもらい座談会を行いました。	—	23
田んぼや湿地にどのような生き物がいるのか、そして、生き物にとって田んぼや湿地がどのような役割を果たしているか学びました。	—	8
江戸時代末期、下谷保村の名主であり医者でもあった本田覚庵が記した産科を主とした診療記録を読み、どのような医療活動をしていたか学びました。	—	16

実施事業 通し番号	事業名	報	
		自主・共催	実施日・期間
22	学習講座 わたしたちのまちくにたちを知る 「水路や小河川が育む水生生物」	自 主	9月9日
● 23	秋季企画展関連講演会 「緑川東遺跡とくにたちの縄文時代」	自 主	10月29日
● 24	秋季企画展関連講演会 「謎多き大形石棒を学ぶ」	自 主	11月19日
○ 25	秋季企画展関連体験学習会 「粘土で縄文土器を作ってみよう」	自 主	11月4日 12月2日
● 26	寄贈資料紹介ミニ展示関連講座 「府中用水を知ろう -古文書を通じて-」	自 主	1月28日 2月18日
27	冬季企画展関連音楽鑑賞事業 「蓄音機でレコードを聞いてみよう」	自 主	2月24日
● 28	寄贈資料紹介ミニ展示関連講演会 「絵図にみる多摩川中流域の村々」	自 主	3月3日

イ. 市民が参加及び体験する事業

①郷土の伝統文化を学ぶ体験事業

29	国立市古民家の公開と展示事業	自 主	通 年
○ 30	伝統行事 五月人形・鯉のぼり飾り	自 主	4月22日～5月7日
○ 31	伝統行事 七夕飾り	自 主	6月24日～7月9日
32	わら細工教室／わらぞうり作り	自 主	7月23日
○ 33	古民家事業 十五夜だんご作り	自 主	9月10日
34	干支の折り紙教室	自 主	12月3日
○ 35	わら細工教室／しめなわ作り	自 主	12月9日
○ 36	古民家事業・伝統行事 まゆ玉飾り	自 主	1月14日
37	民具案内 国立市内公立、私立小学校3年生対象（全11校）	自 主	1月16日～3月5日
○ 38	古民家事業・伝統行事 節分の豆まき	自 主	2月3日
○ 39	古民家事業・伝統行事 ひな人形飾り	自 主	2月10日～3月11日
○ 40	むかしのくらし展関連事業 くにたちカルタ大会	共 催	2月11日
○ 41	古民家事業・伝統行事 ひし餅づくり	自 主	2月25日

②郷土の自然環境を学び体験する事業

○ 42	くにたち自然クラブ（全7回）	共 催	6月25日～12月10日
○ 43	天体観測 冬の星空ウォッチング（全3回）	自 主	12月26日～2月23日
○ 44	自然観察会 冬の生き物探し	自 主	3月18日

告 事業内容及び説明	入場料等 (円)	入場者数 (人)
南部地域の湧水や矢川、多摩川から引いた農業用水が、様々な生き物が生息する上でどのような関わりを持っているか学びました。	—	8
石棒4本が出土した緑川東遺跡および国立市内の縄文時代の遺跡、あわせて縄文時代の文化様式に関して3名の講師に登壇してもらいました。	—	55
石棒4本の最新の研究活動について、石材の観点、考古学的観点、研究の動向の3点に関して3名の講師に登壇してもらいました。	—	74
2日間に分け、縄文土器を作り、縄文を着け、陶芸窯で焼いて完成させる体験を行いました。	300円	11
近世から近代にかけての多摩川や府中用水に関する古文書を通じて、川や用水と村々の関わりについて学びました。	300円	20
冬季企画展に関連したむかしの暮らしを振り返る事業として、昭和初期の蓄音機を使用して郷土文化館所蔵しているSPレコードを鑑賞しました。	—	17
多摩川の流路変更と、それによる村の移動について学び、国立周辺の多摩川に関する絵図について、治水や水害の資料等を用いて読み解きました。	—	40

国立市有形民俗文化財の復元民家旧柳澤家を一般に公開するとともに、農具等の資料を展示しました。	—	延 12,446
伝統行事の一環として、端午の節句を中心に、収蔵資料の五月人形及び刀剣類を展示し、古民家隣地に鯉のぼりを掲揚しました。	—	延 1,238
伝統行事の一環として、郷土文化館及び古民家に笹竹を飾り、来館者、見学者が短冊に自由に願い事を書いて吊るせるようにしました。	—	延 1,351
むかしの暮らしを知る事業として、くにたちの暮らしを記録する会の会員より提供された稲わらを使い、わらぞうりを製作しました。	—	15
伝統行事の一環として、蒸籠や甑、こね鉢などの昔からの道具を使い、十五夜の供え物を作りました。	300円	10
和紙で平成29年の干支、戌を制作することにより、折り紙という日本の伝統文化を体験しました。	—	20
むかしの暮らしを知る事業として、くにたちの暮らしを記録する会の会員より提供された稲わらを使い、しめ縄を作りました。	—	18
繭の豊作を願って、小正月の祝いに飾られるまゆ玉を作り、郷土文化館、古民家に置いた檜の木に飾り付けました。	300円	10
社会科授業の一環として、くにたちの暮らしを記録する会の指導を仰ぎながら、郷土文化館所蔵の民具の解説と体験を行いました。	—	延 758
伝統行事の一環として、魔除けのヤイカガシを古民家入り口に飾り、ほうろくで炒った豆を使い豆まきをして、節分行事を体験しました。	—	120
伝統行事の一環として、館に寄贈された古式のひな人形を活用して、古くからの段飾りを郷土文化館、古民家に再現しました。	—	3,453
むかしの暮らし展関連事業として、国立市のボランティアセンターが製作したカルタを使い、遊びながら郷土の事跡を学ぶ機会としました。	—	20
ひな祭りに飾られるひし餅を作り、郷土文化館、古民家に飾り付けられた古式のひな人形飾りに供えました。	600円	7

小学生を対象とし、生き物や自然の観察を通して、自然の大切さを学びました。 共催：NPO法人国立市動物調査会	通年参加費 2,000	延 174
郷土文化館武蔵野庭園において、国立天文台の講師からお話を聞きながら、大型天体望遠鏡で国立から見える宇宙を観察しました。	—	延 62
NPO法人国立市動物調査会の指導を仰ぎながら、土の中のカブトムシや、朽木の中のカワガタムシの観察をし、自然の観察方法等を学びました。	—	延 28

(3) 市民のスポーツ及びレクリエーション振興の企画と実施事業(定款第4条第3号)

[市民総合体育館] (決算額 22,894,383 円)

ア. スポーツ及びレクリエーション活動の振興事業

①健康づくりのスポーツ事業

実施事業 通し番号	報				
	事	業	名	自主・共催	実施日・期間
1	簡化太極拳24式	① (8日間) ② (8日間) ③ (8日間) ④ (8日間) ⑤ (8日間)		自主	4月 4日～ 5月23日 6月 6日～ 7月25日 9月 5日～10月24日 11月 7日～12月26日 1月16日～ 3月 6日
2	初めての気功と健康太極拳	① (8日間) ② (8日間) ③ (8日間) ④ (8日間) ⑤ (8日間)		自主	4月 4日～ 5月23日 6月 6日～ 7月25日 9月 5日～10月24日 11月 7日～12月26日 1月16日～ 3月 6日
3	やさしいヨガ	④後半 (4日間) ① (8日間) ② (8日間) ③ (8日間) ④ (8日間)		自主	4月 5日～ 4月26日 5月24日～ 7月12日 8月30日～10月18日 11月 1日～12月20日 1月31日～ 3月28日
4	水中リズムウォーキング	① (8日間) ② (8日間) ③ (8日間)		自主	5月24日～ 7月19日 9月 6日～11月 1日 11月15日～ 1月30日
5	骨盤調整&エアロビクス	① (8日間) ② (8日間) ③ (8日間) ④ (8日間)		自主	4月 8日～ 6月3日 6月17日～ 8月5日 10月 7日～ 12月2日 1月13日～ 3月3日
6	楽しいフラダンス	① (6日間) ② (6日間) ③ (6日間)		自主	5月18日～ 7月20日 9月 7日～11月16日 12月 7日～ 3月 1日
7	大人の初心者水泳教室 (8日間)			自主	5月12日～ 6月30日

②スポーツ及びレクリエーションの普及事業

8	初心者ゴルフ教室 (12日間)			自主	4月 4日～ 6月30日
9	レベルアップゴルフ① (12日間) レベルアップゴルフ② (6日間)			自主	9月 1日～11月24日 2月 6日～ 3月16日

③スポーツ普及講習事業

● 10	小学生ボルダリング体験会 (1日間)			自主	8月22日 午前・午後
● 11	ボディメイク講座① (1日間) ボディメイク講座② (1日間)			自主	10月29日 11月 5日

告	参加費等 (円)	参加者数 (人)
事業内容及び説明		
中国武術の一派をもとに制定された健康法として、中国政府が編纂、制定した簡化太極拳を学び、健康増進を目指した事業を実施しました。	5,000	479
	5,000	427
	5,000	427
	5,000	433
	5,000	407
初心者向けの13勢基本法の太極拳にゆっくりとした呼吸法を取入れ足腰を鍛錬し、健康増進を目指した事業を実施しました。	5,000	414
	5,000	379
	5,000	418
	5,000	442
	5,000	467
ヨガの基本的な動作をわかりやすく取り入れ、身体をリラックスさせて心身のリフレッシュと健康増進を目指した事業を実施しました。	2,500	343
	5,000	673
	5,000	710
	5,000	739
	5,000	708
水中を歩いたりストレッチ、ダンス等を行うことにより、浮力を利用し身体全体を動かすなど健康増進を目指した事業を実施しました。	5,000	429
	5,000	419
	5,000	386
音楽のリズムに合わせた有酸素運動に加えて、骨盤を調整するストレッチを取り入れ、健康な身体作りを目指した事業を実施しました。	5,000	246
	5,000	241
	5,000	266
	5,000	239
音楽に合わせてバランスを取りながら、優雅に全身を動かすことにより健康増進を目指した事業を実施しました。	5,000	159
	5,000	132
	5,000	133
唯一の夜間の事業です。大人になっても泳げるようになりたいという方が参加されていますが、最も参加者の年齢層が幅広い事業です。	5,000	155

ゴルフの基本的な技術指導を行い、ゴルフの楽しさや技術とルールを学ぶため事業を実施しました。	18,000	462
ゴルフの応用的な技術指導とルールを学ぶとともに参加者がレベルアップする事業を実施しました。	18,000 9,000	454 244

「オリンピック種目に挑戦」と題して、初めて開催しました。大変、人気がありましたが、スペースの関係で定員は10名でした。	無 料	9
下半身の大きな筋肉を動かすことで、健康的に痩せるコツをつかむ講座です。市内にウエイトリフティングのジムが出来たことから開催しました。	1,000	4 6

イ. 市民が参加及び体験する事業

①親と子供のスポーツ体験事業

実施事業 通し番号	報		
	事 業 名	自主・共催	実施日・期間
12	親子スイミング教室 ① (6日間) ② (6日間)	自 主	5月 8日～ 6月12日 9月 4日～10月30日
13	親子体操教室 ① (8日間) ② (8日間) ③ (8日間)	自 主	5月12日～ 6月30日 9月22日～11月17日 1月12日～ 3月 2日
14	親子野球教室 ① (1日) ② (1日) ③ (1日)	自 主	6月17日 10月14日 3月10日

②小学生スポーツ体験事業

○	15	小中学生無料開放 (夏休み2回) (冬休み1回) (春休み1回)	自 主	8月 3日 8月31日 1月 4日 3月29日
○	16	小学生かけっこ教室 ① (1日) ② (1日)	自 主	4月15日 8月28日
○	17	小学生バドミントン教室① (6日間) ② (6日間)	自 主	5月13日～ 7月 1日 10月14日～12月 2日
○	18	小学生高学年テニス教室 (3日間)	自 主	8月7日～9日
○	19	小学生初心者水泳教室 ①二小 (4日間) ②三小 (4日間) ③五小 (4日間) ④六小 (4日間) ⑤七小 (4日間)	協 力	8月22日～25日 8月21・22・28・29日 8月7日～10日 8月7日～10日 8月7日～10日
○	20	初心者ミニバスケット教室 (1回 3日間)	自 主	7月31日～ 8月4日
○	21	サッカークリニック (1日間)	自 主	1月21日

③共催事業

○	☆	22	第27回ファミリーフェスティバル	共 催	5月 5日
☆		23	第27回くにたちウォーキング	共 催	10月9日
○		24	スポーツ教育講演会 講師：山本博氏 「あなたの可能性を引き出すために」	共 催	3月31日
☆		25	第27回ダンスコレクション (会場：市民芸術小ホール)	共 催	2月26日

告	参加費等 (円)	参加者数 (人)
事業内容及び説明		
親子で水に慣れるとともに、親子のコミュニケーションづくりとして事業を実施しました。	4,000 4,000	15組 160 24組 238
親子で一緒に運動することにより動く楽しさを知るとともに、親子のコミュニケーションづくりとして事業を実施しました。	5,000 5,000 5,000	25組 300 26組 312 34組 408
年中から小学2年生までを対象に、プロの指導員により野球を基礎から学ぶ場を提供することにより、運動の楽しさを知ってもらうために字義用を実施しました。	無 料	13組 26 雨天中止 28組 64

小・中学生を対象に学校の長期休暇期間中、子ども同士や親子で卓球、バドミントン、水泳を楽しく体験し、ルールを学び、スポーツに親しむ事業を実施しました。各種目には指導者を配置しアドバイスを行いました。	無 料	362 408 285 300
運動の基礎となる走力を身に着けるため開催しました。時期は運動会の前になりました。	無 料	76 67
小学生を対象に専門の指導員を派遣し、サーブ目レシーブ・スマッシュなどバドミントンを基礎から学びました。	2,000	122 112
小学4年生から6年生を対象に、サーブ・レシーブ・ボレーなどのテニスの基礎を学びました。	無 料	86
教室開催を希望する小学校を対象に、初心者水泳教室を開催しました。定員は設けず、希望者全員が受講しました。また、2学期に水泳の授業が無い小学校では、最終日に検定も行いました。	無 料	277 418 237 285 210 合計 1,427
小学生の初心者を対象に、ミニバスケットのゴールでドリブルやシュートなどの基礎を学びました。	無 料	99
小学生を対象に専門の指導員を派遣し、サッカーの基礎や応用を学ぶ場を提供することにより楽しさを知るとともに親睦を図る事業を実施しました。	無 料	142

総合体育館及びその周辺にスポーツやゲームのコーナーを設け、子どもを中心に家族で楽しんでもらうイベントを開催しました。 共催：国立市体育協会 協賛：(株)ヤクルト本社中央研究所 他	無 料	11,551
今年は8.4kmの1コースだけになりました。高齢者表彰や完歩賞を発行するなど、楽しく参加できるようにするとともに、今年から完走後に大抽選会を開催しました。共催：国立市体育協会 協賛：(株)ヤクルト本社中央研究所、(株)FSX、国立温泉 湯楽の里	大人 500 子供 200	617
オリンピックメダリストの講演会です。特に銅メダルの20年後に銀メダルを獲得することはオリンピック史上でも珍しく、そのモチベーションの維持等は多くの聴衆をひきつけました。共催：国立市体育協会	無 料	247
総合体育館と市民芸術小ホールの利用団体によるダンス活動の成果を発表するとともに、ダンスの普及を図りました。共催：第28回ダンスコレクション実行委員会 協賛：(株)ヤクルト本社中央研究所、(有)白十字	指定・700 自由・500	471

(4) 市民の自主的な文化・スポーツ活動の奨励及び団体の育成事業（定款第4条第4号）
 〔総務課〕（決算額 1,287,000 円）

ア. 助成事業

実施事業 通し番号	報	
	事業名（団体名）	実施月日
1	春うらら:国立・立川さくらウォーキング (国立市観光まちづくり協会)	4月3日
2	the show ～ LOCK★SHOW (the show 実行委員会)	4月4日
3	くにたち市舞踊連盟創立50周年記念交流発表会	5月28日
4	谷保天満宮獅子舞保存事業 (谷保天満宮獅子舞保存会)	9月22日
5	第41回ふれあいスポーツのつどい (第41回ふれあいスポーツのつどい実行委員会)	10月15日
6	第450回記念 お話会 (くにたちお話しの会)	10月17日
7	第14回くにたちふれあいコンサート (高齢者福祉を考える会)	11月17日
8	くにたち市民合唱団30周年記念演奏会	11月23日
9	第45回くにたち元旦マラソン大会 (国立市陸上競技協会)	1月1日
10	第41回塞の神どんど焼 (賽の神実行委員会)	1月9日

(5) 財団広報誌「オアシス」の発行等（定款第4条第7号）
 〔総務課〕（決算額 5,163,412 円）

	実施事業 通し番号	報	
		事業名（団体名）	実施月日
☆	1	財団広報誌「オアシス」の発行事業	4月、6月、8月 10月、12月、2月 臨時(3月)
☆	2	財団ホームページの管理事業	随時

告 事業内容及び説明	助成金 (円)	入場者数 等(人)
国立発と立川発の二つのコースを設定し、さくらを愛でながらウォーキングを実施しました。	100,000	1,397
市内のダンスサークル9団体による、ダンスの合同発表会を開催しました。	37,000	328
創立50周年を迎え、長年の活動を振り返るとともに、今後のさらなる活動を目指し、記念交流発表会を実施しました。	150,000	350
国立市指定文化財「獅子舞」の保存と後継者の育成に寄与しました。	120,000	40
しょうがい者と健常者が一緒にスポーツを行い、お互いに理解と親睦を深めました。	200,000	766
素語りの楽しさを味わってもらい、その意義を普及するためのお話会を450回の記念事業として実施しました。	100,000	140
高齢者を対象(中心)に、ピアノ、バイオリン等を演奏し、生の音楽を聴いてもらいました。また、今回は韓国の音楽大学教授も参加され、日韓親善友好の音楽会となりました。	180,000	400
芸術小ホールを中心に市民への合唱普及活動を30年継続しています。合唱の未経験の方も、年齢に関係なく、誰でも体験してもらう場を提供し、市民に対する合唱音楽普及に貢献しました。	200,000	360
10km、5km、3kmに分け、幅広い年齢層を対象に元旦マラソン大会を実施しました。	50,000	84
国立市に生まれ育った子どもたちに伝統文化を知らせ、郷土意識を養いました。	150,000	2,000

告 事業内容及び説明	事業費 (円)	発行数 (部)
各館の事業を中心に、年6回隔月に「オアシス」を発行し、市内全世帯に配布しました。また、29年度はアートビエンナーレ事業等に関する臨時号を発行しました。 発行部数 毎回約41,000部、 8ページ4回、4ページ2回、1ページ1回、 発行形態 タブロイド判 全頁フルカラー 広告1枠(8センチ×6センチ) 広告収入5社29枠 (711,000円)	5,163,412	294,710
ホームページを通して、事業内容、財団の情報を発信しました。 随時更新	1,485,600	—

(6) 総合評価

(芸術小ホール)

- ・ 定款第4条1号に係わる自主・共催事業については、概ね計画のとおり実施できました。合わせて、財団設立30周年、市制施行50周年など冠事業を実施しました。
- ・ 「ビエンナーレ事業」については、1年の追加準備期間を要し、2018年3月の開催となった「くにたちアートビエンナーレ2018第2回野外彫刻展」を公募型の野外彫刻設置事業として実施しました。
- ・ 野外彫刻展を核とするビエンナーレ事業については、地域からの寄付金に大きく依存した資金計画についての課題が明らかになり、事業の継続実施には資金調達策などから、大幅な見直しが求められます。
- ・ Play me, I'm yours kunitachi 2018は、長期の準備と各所への調整を経て盛況に開催されました。一部事業の委託形態、運営体制の整備など課題も現れました。
- ・ 国立音楽大学との連携協力事業など大学連携事業は、一橋大学や東京女子体育大学も含め、柔軟な連携協力を進められるよう関係構築が進みました。
- ・ 「芸術振興事業」については、すたじお寄席に出演してきた二つ目落語家が真打ちに昇進するなど、事業継続の成果が現れました。長期的な事業継続で落語・話芸の活用は、体験事業やアウトリーチなど多角的に展開されています。
- ・ 施設や設備の老朽化に対応した外壁等改修工事が始まるなど、施設改修、設備更新は利用制限をとまなう大型事業化しており、利用者への事前の周知徹底など慎重な対応を行いました。

(郷土文化館)

- ・ 自主・共催事業については、概ね計画のとおり実施できました。
- ・ 春季企画展「くにたち あの日、あの頃-写真に見る少し昔のくにたち-」は、市制50周年を記念した写真集からリストアップし、関連する広報紙の当時の記事や現状の写真と対比させて掲示したことにより観覧者の興味を喚起することができました。また、写真集や本企画のもととなった資料のデジタル化をしたことにより、学校、自治会等多くの市民から問合せがあり、市民のために資料の利活用ができることとなりました。
- ・ 秋季企画展「国指定重要文化財 緑川東遺跡出土 石棒展」は、平成29年9月に国の重要文化財に指定されたことを受け、市制施行50周年及び財団創立30周年の記念事業として実施しました。開催中に、講演会2回、6名の発表者の講演により、計129名の参加者があり大盛況でした。今後は、歴史を学び始める小学校高学年にも出前講座等あらゆる機会を利用して広く啓発していきたいと思えます。
- ・ ミニ展示「絵図からみる多摩川と用水」は、西野家より発見された多摩川絵図を専門業者に修復をしてもらい展示しましたが、川や用水などを通じて、近世から近代の近隣の村々との関係を考える良い機会となりました。今後も収蔵資料の公開や資料の修復・保存に関する郷土文化館の活動を多くの市民に理解してもらうため、同様の展示を時期をみて開催していきたいと考えています。
- ・ 古民家の通常管理は、国立市シルバー人材センターに委託していますが、見学者への接

遇の向上を図るとともに、利活用につきましては、引き続き観光まちづくり協会、及び城山さとのいえと連携し、古民家の見学者数増に向け模索していきたいと考えています。

- ・学芸員の固有職員への身分移管したことを踏まえ、今後においてもより一層各学芸員の専門性を活かして、事業を実施していきます。

(総合体育館)

- ・重点事業の小学生対象の事業については、初心者水泳教室を2校増やし5校で実施しました。501名の児童が参加しましたが、これは全児童の16.3%で、児童の泳力向上に寄与することができました。
- ・「オリンピック種目に挑戦」として、小学生等を対象にボルダリング、ウエイトリフティング、ボクシングの体験会を企画しました。ボルダリングは100人近い申し込みがありましたが、ウエイトリフティングは応募者ゼロで、ボクシングは最終的に会場が確保できず開催できませんでした。種目の選定等に準備不足がありました。
- ・高齢者向けの新規事業としてインターバル速歩の講習会を講師の方と協力して試験的に行いました。一定の参加者がいることから平成30年度から定期的を開催することで、「高齢者向けに常設の講習会を開催する」という目標に近づくことができました。
- ・総合体育館の指定管理事業については、利用者数、利用料収入ともほぼ横ばいでしたが、個別にはトレーニング室の利用者が9.0%増えましたが、これは昨年引き続き新しい機器の導入や細かな要望等への対応によるものと評価しています。逆に室内プールは7.2%の減でしたが、これは比較的空いているシーズンオフに団体貸出を増やしたため、個人利用が減少したと思われます。なお、団体についても既存の団体は会員数が減少し、団体の利用者数も減少しています。
- ・有料公園施設はテニスコートの利用時間が3.9%減でした。これは2回の降雪により利用できなかったことが主な要因ですが、シルバー人材センターを活用し短期間で除雪を行いましたので、この程度の減に収まったと評価しています。また、野球場、サッカー場の利用時間は微増でしたが、利用率向上に向けグラウンド整備のため草刈機やローラー等を整備しました。

(総務課)

- ・広報紙「オアシス」発行事業については、より市民に見やすいことを心掛けて編集しました。今後においても財団として、オアシスは非常に重要な広報媒体でありますので、より親しみやすく、多くの市民に読んでいただけるよう編集の創意工夫に努めていきます。財団としての財源確保のため、オアシスへの広告掲載依頼等について引き続き努力していきます。また、ホームページについては、市民によりわかりやすいようリニューアルをしてまいります。

2. 指定管理事業

国立市との協定による施設の管理運営事業

(1) 市民芸術小ホールの利用状況

(ア) 利用料収入

施設名	平成29年度			平成28年度			増(-)減
	施設利用料	付属設備利用料	利用料合計	施設利用料	付属設備利用料	利用料合計	
ホール	4,995,540	5,627,900	10,623,440	5,884,430	6,242,950	12,127,380	△ 1,503,940
スタジオ	1,255,110	874,600	2,129,710	1,568,190	931,300	2,499,490	△ 369,780
音楽練習室	1,182,760	259,200	1,441,960	1,280,000	267,400	1,547,400	△ 105,440
アトリエ	445,850	3,400	449,250	514,550	4,800	519,350	△ 70,100
ギャラリー	396,000	0	396,000	456,000	200	456,200	△ 60,200
合計	8,275,260	6,765,100	15,040,360	9,703,170	7,446,650	17,149,820	△ 2,109,460

※H30/1/10～3/31の間の平日と土曜日（64日間）は外壁工事のため利用制限あり。

・ 減免利用料

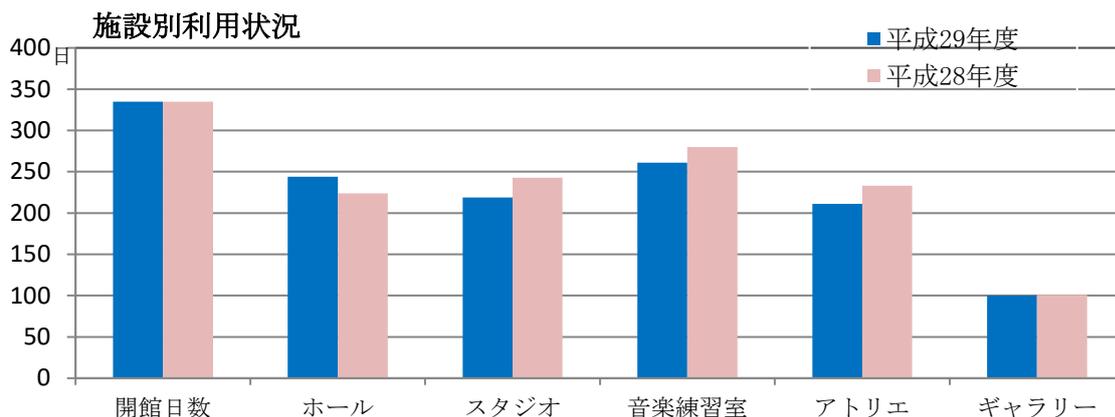
平成29年度減免利用料額			平成28年度減免利用料額			差引増(-)減額
施設	付属設備	合計	施設	付属設備	合計	
8,479,100	6,378,650	14,857,750	384,900	60,800	445,700	

単位：円

(イ) 施設別利用状況

年度	施設名	利用日数	利用率	利用件数	利用場所		利用者数
					市内	市外	
平成29年度 開館日数 335日	ホール	244日	72.8%	262件	201件	61件	35,359人
	スタジオ	219	65.4	286	188	98	10,261
	音楽練習室	261	77.9	351	240	111	7,640
	アトリエ	211	63.0	276	244	32	3,285
	ギャラリー	100	29.9	100	84	16	4,379
	エントランス	14	4.2	14	14	0	1,754
	憩い利用※	335					9,730
計				1,289	971	318	72,408
平成28年度 開館日数 335日	ホール	224日	66.9%	245件	191件	54件	33,053人
	スタジオ	243	72.5	325	230	95	10,523
	音楽練習室	280	83.6	380	283	97	8,028
	アトリエ	233	69.6	314	278	36	3,776
	ギャラリー	101	30.1	101	87	14	4,247
	エントランス	23	6.9	23	23	0	1,434
	計				1,388	1,092	296

※ エントランスを開放中の昼、夕方に休憩利用する来館者を集計。



市民芸術小ホール利用状況

<平成29年度>

単位：回

	ホール			スタジオ			音楽練習室			アトリエ			ギャラリー	エントランス
	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間	全日	全日
H29年 4月	16	18	16	10	14	5	16	15	10	13	9	6	16	1
H29年 5月	12	13	14	11	15	10	17	15	10	14	12	4	7	1
H29年 6月	16	18	13	10	17	15	15	15	15	16	11	6	4	1
H29年 7月	18	18	13	17	21	18	17	18	15	13	9	5	6	1
H29年 8月	15	19	18	13	18	14	17	17	12	9	6	3	1	1
H29年 9月	21	20	17	20	18	9	22	18	18	19	13	9	6	1
H29年 10月	19	19	16	14	17	10	23	18	17	18	12	8	24	1
H29年 11月	21	23	19	15	17	11	21	20	15	18	12	5	16	1
H29年 12月	17	19	18	12	19	10	16	18	10	12	4	2	2	1
H30年 1月	9	11	14	8	8	6	14	16	13	15	9	3	1	0
H30年 2月	8	11	15	5	8	12	13	11	9	16	10	5	8	0
H30年 3月	16	17	21	14	16	14	15	14	15	16	13	8	9	0
合 計	188	206	194	149	188	134	206	195	159	179	120	64	100	9

<平成28年度>

単位：回

	ホール			スタジオ			音楽練習室			アトリエ			ギャラリー	エントランス
	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間	午前	午後	夜間	全日	全日
H28年 4月	13	14	9	11	15	10	15	15	8	17	9	3	14	1
H28年 5月	15	15	13	11	15	7	16	15	10	16	9	3	7	1
H28年 6月	8	11	9	10	18	12	19	17	14	17	10	5	3	1
H28年 7月	20	22	19	17	21	20	18	24	21	18	10	6	4	1
H28年 8月	15	17	12	20	23	17	19	22	14	16	15	10	22	1
H28年 9月	20	24	11	11	16	10	17	19	12	17	11	7	4	1
H28年 10月	17	17	17	16	23	20	17	15	14	17	10	8	12	1
H28年 11月	19	19	15	14	21	19	18	22	11	14	15	4	10	1
H28年 12月	13	18	15	11	17	9	15	17	5	12	7	2	9	1
H29年 1月	12	17	14	12	12	6	15	13	8	14	11	5	0	2
H29年 2月	18	18	16	11	12	10	20	17	13	21	19	13	2	3
H29年 3月	21	22	21	16	21	11	21	21	16	19	17	8	14	9
合 計	191	214	171	160	214	151	210	217	146	198	143	74	101	23

(2) 国立市古民家を含む郷土文化館の利用状況

(ア) 施設・設備利用料収入

単位：円

年 度 (平成)	利用料収入額			減免利用料		
	施設	付属設備	合計	施設	付属設備	合計
29年度	1,088,600	175,000	1,263,600	1,791,400	20,000	1,811,400
28年度	1,190,300	154,500	1,344,800	1,709,900	11,500	1,721,400
増(一)減	-101,700	20,500	-81,200	81,500	8,500	90,000

(イ) 施設別利用状況

単位：件

施設名	年度 (平成)	利用時間帯別利用件数 (年間335日)														
		午前			午後			夜間			全日			合計		
		有料	減免	合計	有料	減免	合計	有料	減免	合計	有料	減免	合計	有料	減免	合計
講 堂	29年度	135	30	165	176	17	193	126	0	126	0	0	0	437	47	484
	28年度	140	53	193	192	20	212	141	0	141	0	0	0	473	73	546
研修室 1	29年度	34	63	97	72	37	109	0	8	8	0	0	0	106	108	214
	28年度	42	69	111	86	47	133	8	7	15	0	0	0	136	123	259
研修室 2	29年度	152	35	187	160	23	183	2	5	7	0	0	0	314	63	377
	28年度	164	35	199	151	28	179	2	6	8	0	0	0	317	69	386
特 別 展示室	29年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	219	219	0	219	219
	28年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	200	208	8	200	208
合 計	29年度	321	128	449	408	77	485	128	13	141	0	219	219	857	437	1,294
	28年度	346	157	503	429	95	524	151	13	164	8	200	208	934	465	1,399

(ウ) 付属設備利用状況

単位：件

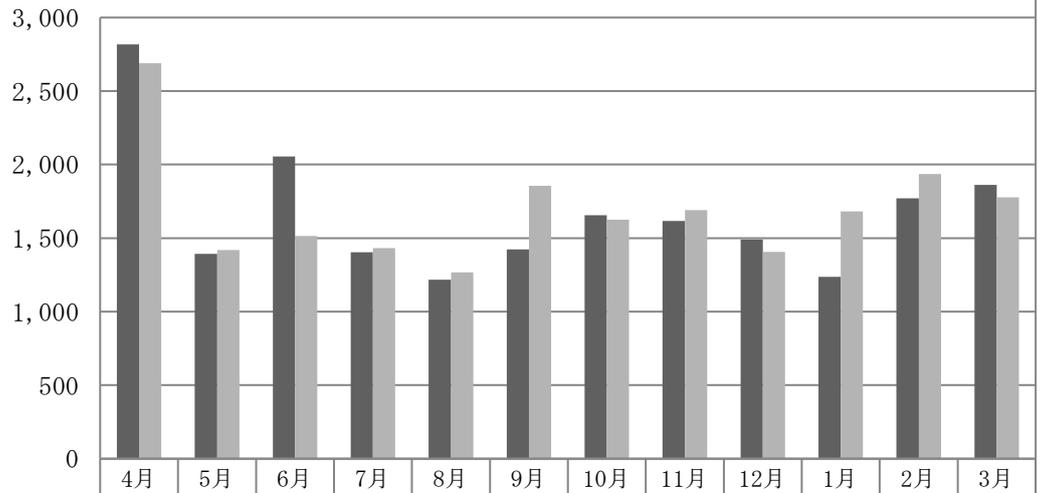
年 度 (平成)	ビデオ映写装置			移動展示ケース			スライド映写機			16ミリ映写機			OHP			陶芸用電気釜			合 計		
	有料	減免	合計	有料	減免	合計	有料	減免	合計	有料	減免	合計									
29年度	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	20	3	23	20	4	24
28年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24	2	26	24	2	26

(エ) 事業収入等状況

年 度 (平成)	入館者 (人)			事業収入等 (円)					事業参加者 (人)		
	郷土文化館	古民家	合 計	入場料	参加費	図録売上	その他	合 計	有 料	無 料	合 計
29年度	19,943	12,446	32,389	0	140,100	935,900	25,270	1,101,270	181	14,808	14,989
28年度	20,229	11,880	32,109	0	183,100	330,800	51,450	565,350	320	16,945	17,265
増(一)減	-286	566	280	0	-43,000	605,100	-26,180	535,920	-139	-2,137	-2,276

単位：人

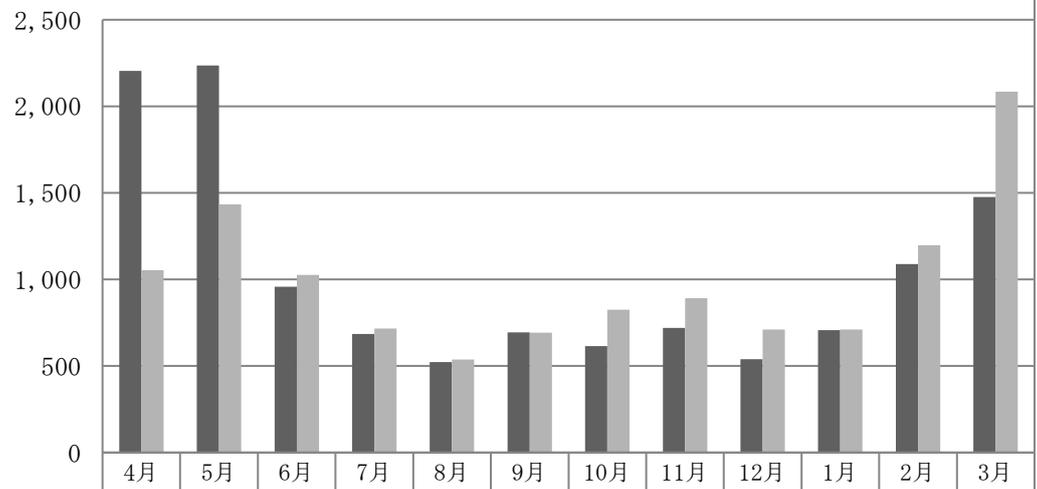
郷土文化館
入館者数



■平成29年度開館日335日	19,943人	2,818	1,393	2,055	1,403	1,217	1,424	1,656	1,617	1,491	1,237	1,771	1,861
■平成28年度開館日335日	20,229人	2,690	1,420	1,515	1,432	1,268	1,856	1,626	1,690	1,406	1,682	1,936	1,778

単位：人

古民家
入館者数



■平成29年度開館日335日	12,446人	2,205	2,235	958	685	523	694	615	720	539	707	1,089	1,476
■平成28年度開館日335日	11,880人	1,054	1,434	1,027	716	537	692	825	892	710	710	1,198	2,085

(3) 市民総合体育館の利用状況

(開館日数: 335 日)

ア 利用料収入

単位:円

	利用料収入額			減免利用料			
	個人	団体貸切	合計	減免	グリーンパス等	特保	合計
平成29年度	26,826,470	7,935,790	34,762,260	2,008,520	4,930,350	245,800	7,184,670
平成28年度	25,966,060	8,393,215	34,359,275	2,025,710	5,247,500	156,000	7,429,210
増減	860,410	-457,425	402,985	-17,190	-317,150	89,800	-244,540

イ 個人利用の状況

単位:人

	第一、二、三体育室			室内プール		
	個人	グリーンパス等	合計	個人	グリーンパス等	合計
平成29年度	27,375	6,381	33,756	20,737	8,981	29,718
平成28年度	26,649	6,554	33,203	22,314	9,707	32,021
増減	726	-173	553	-1,577	-726	-2,303

	トレーニング室				合計			
	個人	グリーンパス等	特保	合計	個人	グリーンパス等	特保	合計
平成29年度	34,376	16,470	684	51,530	82,488	31,832	684	115,004
平成28年度	29,898	16,867	520	47,285	78,861	33,128	520	112,509
増減	4,478	-397	164	4,245	3,627	-1,296	164	2,495

ウ 団体貸切利用の状況

単位:(団体数)団体、(人数)人

	第一～三体育室		室内プール		会議室		ステージ
	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数	団体数
平成29年度	2,385	57,937	454	12,234	409	10,673	26
平成28年度	2,713	59,593	527	13,196	465	10,580	30
増減	-328	-1,656	-73	-962	-56	93	-4

単位:(団体数)団体、(人数)人

	合計	
	団体数	人数
平成29年度	3,274	80,844
平成28年度	3,735	83,369
増減	-461	-2,525

総利用者数 単位:人

個人利用+団体貸切+保育室	
平成29年度	198,018
平成28年度	197,684
増(-)減	334

エ その他 保育室利用状況

保育室	利用件数	人数
		289件

・駐車場利用状況(届け出台数)

駐車場	利用台数	1日平均
		22,096台

オ くになち南市民プラザ:トレーニング室利用状況

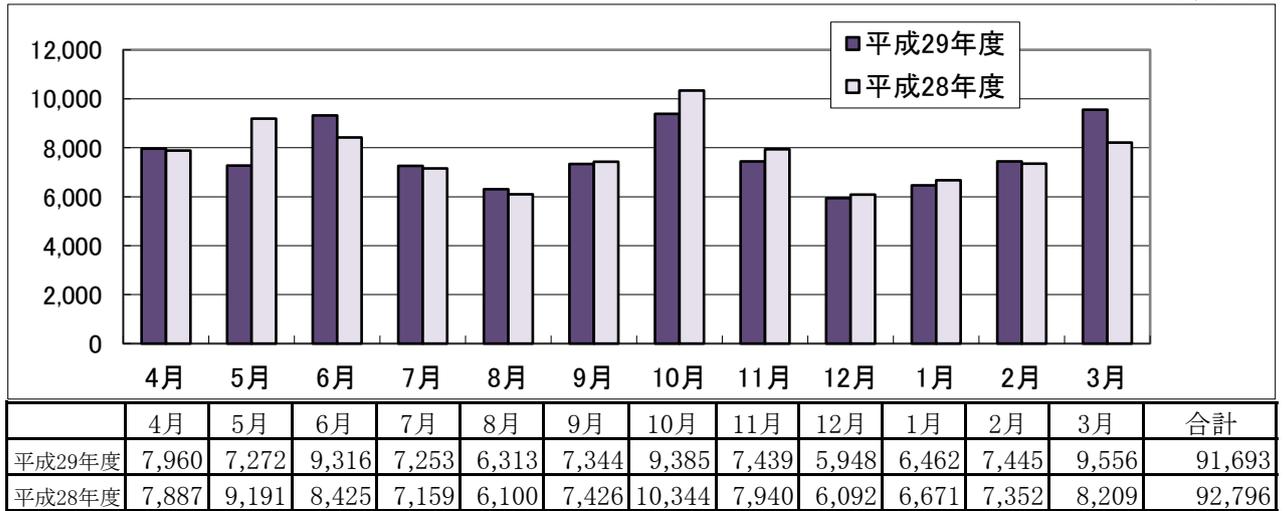
(開館日数: 196 日)

	個人利用料 収入額(円)	減免利用料(円)				利用人数(人)				
		グリーンパス等	特保	無料券	合計	個人	グリーンパス等	特保	無料券	合計
平成29年度	1,111,380	444,930	51,000	26,100	522,030	2,837	3,013	170	87	6,107
平成28年度	1,174,640	431,700	53,700	328,200	813,600	2,953	2,872	179	1,094	7,098
増減	-63,260	13,230	-2,700		-291,570	-116	141	-9	-1,007	-991

※無料券は総合体育館の無料利用券の数字ですが、平成28年度までは介護予防教室参加者の数字です。

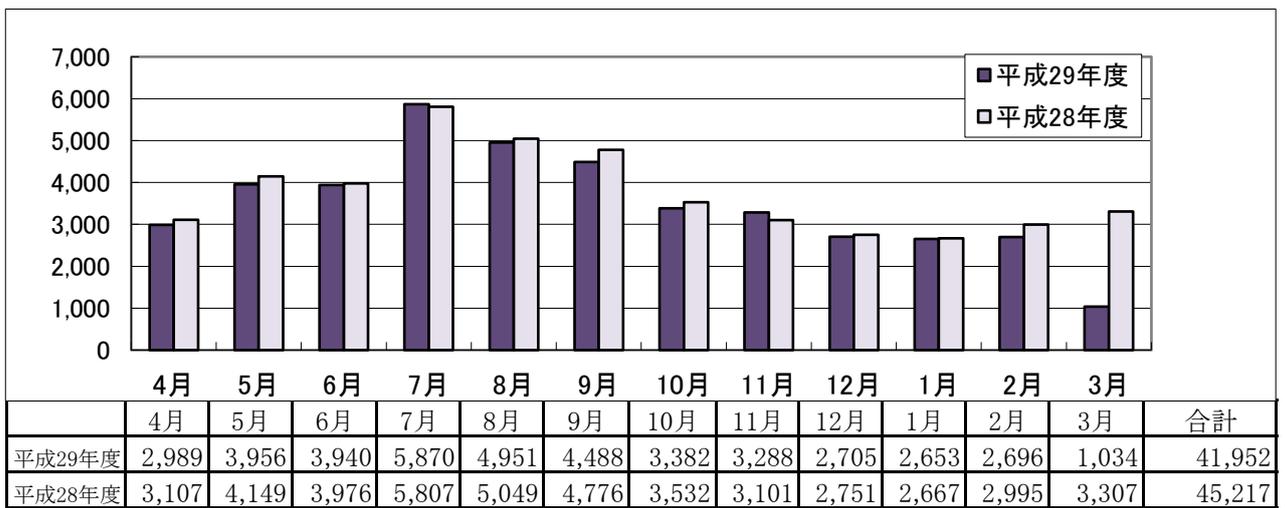
カ 第一、二、三体育室月別利用状況

単位(人)



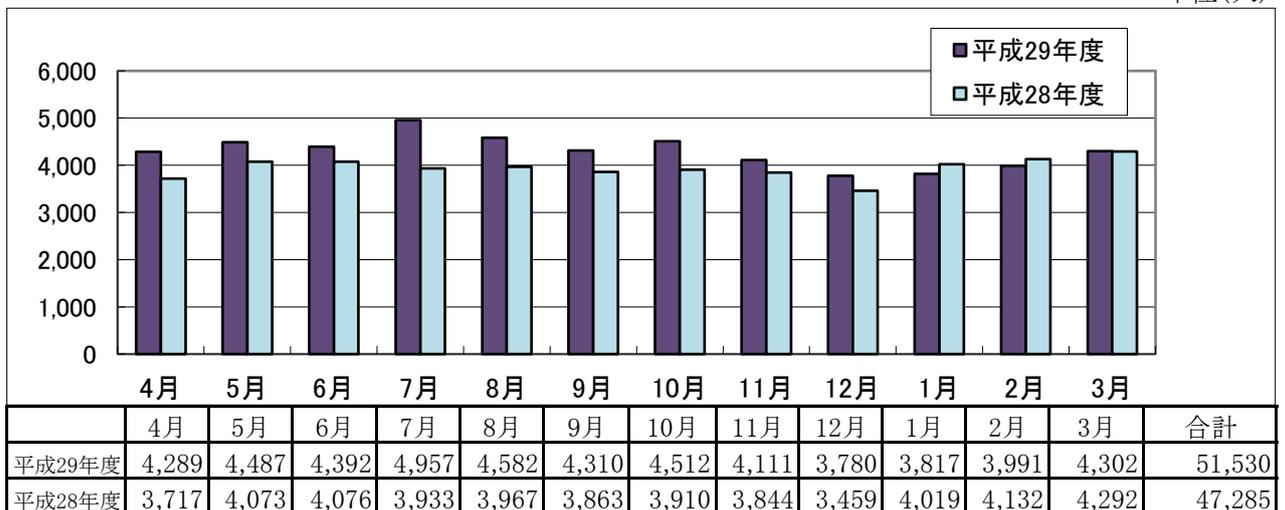
キ 室内プール月別利用状況

単位(人)



ク トレーニング室月別利用状況(くにたち南市民プラザを含む)

単位(人)



(4) 有料公園施設等の利用状況

ア 利用料収入

単位:円

	利用料収入額			
	テニス	野球	サッカー	合計
平成29年度	17,095,050	1,676,000	560,500	19,331,550
平成28年度	18,291,300	1,853,500	547,000	20,691,800

減免利用料

単位:円

	減免利用額			
	テニス	野球	サッカー	合計
平成29年度	822,600	4,410,500	837,000	6,070,100
平成28年度	746,000	4,123,000	837,000	5,706,000

イ テニスコートの利用状況

単位:1面1時間

	テニスコート			
	谷保	矢川	広場	合計
平成29年度	9,023	8,149	10,767	27,939
平成28年度	9,015	8,480	11,592	29,087

テニスコートの利用率

単位:1面1時間

	テニスコート利用率			
	谷保	矢川	広場	平均
平成29年度	81.27%	73.20%	62.76%	70.93%
平成28年度	80.98%	76.17%	67.32%	73.66%

ウ 野球・サッカーの利用状況

単位:1面1時間

	野球場				サッカー	合計
	谷保第三	河川敷AB	少年野球場	小計		
平成29年度	2,237	3,264	1,052	6,553	1,564	8,117
平成28年度	2,305	3,067	1,052	6,424	1,529	7,953

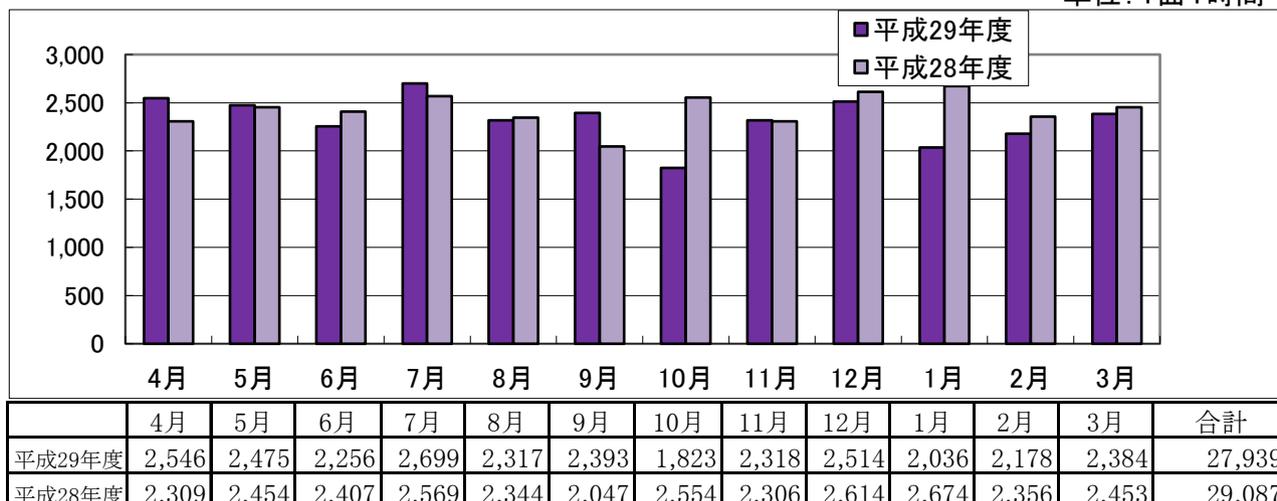
野球・サッカーの利用率

単位:1面1時間

	野球場利用率				サッカー場利用率	平均
	谷保第三	河川敷AB	少年野球場	小計		
平成29年度	60.28%	44.48%	35.79%	44.48%	42.14%	45.86%
平成28年度	62.70%	42.15%	36.64%	44.17%	41.72%	45.47%

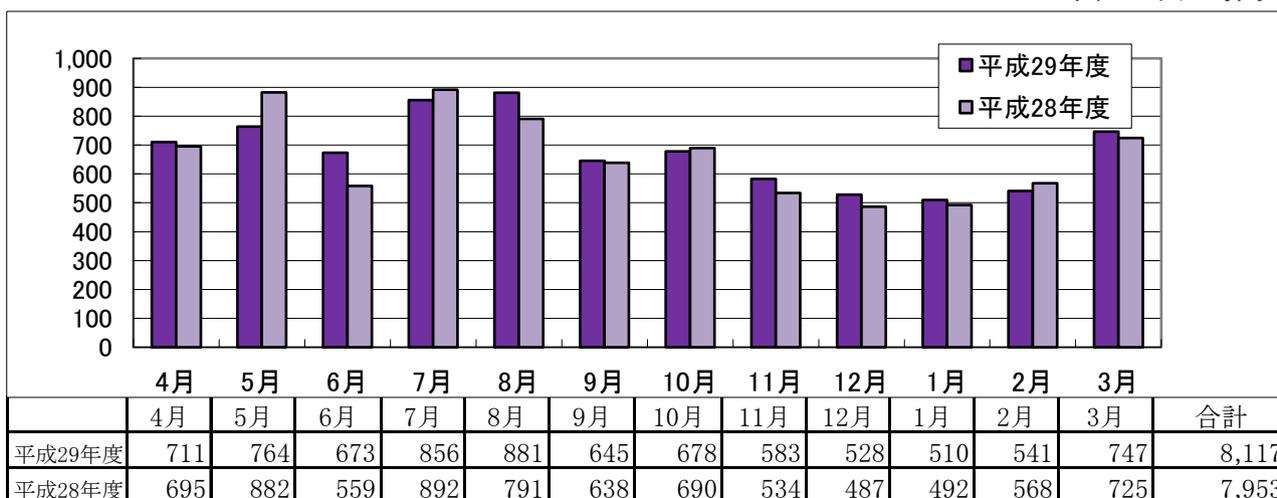
エ 谷保・矢川・広場テニスコート月別利用状況

単位：1面1時間



オ 野球・サッカー月別利用状況

単位：1面1時間



3. 管 理

(1) 役員及び役員会等に関する事業

ア. 理事、監事及び評議員等の名簿

(ア) 理事

(平成 30 年 3 月 31 日現在)

役 職 名	氏 名	任 期	常勤・ 非常勤	当法人以外の役職
理 事 長	竹 内 光 博	平成29年5月31日から2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の日まで	非常勤	国立市副市長
常務理事	高 橋 一 成	〃	常 勤	公益財団法人くにたち文化・スポーツ振興財団事務局長
理 事	池 田 良 二	〃	非常勤	武蔵野美術大学名誉教授
〃	小 澤 孝 造	〃	〃	国立の自然と文化を守る会 名誉会長
〃	浅見美弥子	〃	〃	東京女子体育大学・東京女子 体育短期大学学長
〃	宮 崎 宏 一	〃	〃	国立市教育委員会教育次長
〃	武 田 忠 善	〃	〃	国立音楽大学学長

(イ) 監事

(平成 30 年 3 月 31 日現在)

役 職 名	氏 名	任 期	常勤・ 非常勤	当法人以外の役職
監 事	木 村 淳 二	平成27年5月29日から4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の日まで	非常勤	税理士
〃	佐 藤 収 一	〃	〃	会社社長

(ウ)評議員

(平成 30 年 3 月 31 日現在)

役職名	氏名	任期	常勤・非常勤	当法人以外の役職
評議員	尾崎良一	平成27年5月29日から4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の日まで	非常勤	国立市体育協会理事長
〃	笠間信也	〃	〃	NPO国立市動物調査会
〃	佐伯安子	〃	〃	くにたちの暮らしを記録する会 会長
〃	坂上康博	〃	〃	国立大学法人一橋大学大学院 社会学研究科教授
〃	塩野啓子	〃	〃	桐朋芸術短期大学講師 バレエスタジオ主宰
〃	宍戸 彰	〃	〃	くにたち市民オーケストラ
〃	綿引康司	〃	〃	たましん地域文化財団理事
〃	山井佳代子	〃	〃	会社社長
〃	和田 哲	〃	〃	国立市文化財保護審議会委員

イ. 理事会等の開催

(ア)理事会

a 議事事項

開催年月日	件名	会議結果
平成 29 年 5 月 16 日	第 1 号議案 定時評議員会の招集(案) 第 2 号議案 平成 28 年度事業報告(案) 第 3 号議案 平成 28 年度決算(案) 第 4 号議案 理事候補者(案)	可 決 可 決 可 決 可 決
平成 29 年 5 月 31 日	第 5 号議案 理事長及び常務理事の選定(案) 第 6 号議案 事務局長(案)	可 決 承 認
平成 29 年 10 月 23 日	第 7 号議案 臨時評議員会の招集(案)	可 決
平成 30 年 2 月 20 日	第 8 号議案 臨時評議員会の招集(案) 第 9 号議案 平成 30 年度事業計画書(案) 第 10 号議案 平成 30 年度収支予算書(案)と資金調達及び 設備投資の見込みを掲載した書類(案) 第 11 号議案 嘱託員の設置に関する要綱の一部改正(案)	可 決 可 決 可 決 可 決

b 協議事項

開催年月日	件名	備考
平成 29 年 10 月 23 日	協議事項① 平成 30 年度事業計画作成に伴う協議	

c 報告事項

開催年月日	件名	備考
平成 29 年 5 月 16 日	報告事項① 運営組織及び事業活動の状況の概要等について 報告事項② 寄附金等特定資産の運用の状況について	
平成 29 年 10 月 23 日	報告事項① 臨時職員取扱要綱の一部改正について 報告事項② 理事長・常務理事の職務の執行状況	
平成 30 年 2 月 20 日	報告事項① 理事長・常務理事の職務の執行状況	

(イ) 評議員会

a 議事事項

開催年月日	件名	会議結果
平成 29 年 5 月 31 日	第 1 号議案 平成 28 年度決算 第 2 号議案 理事の選任	可決 可決
平成 30 年 2 月 27 日	第 3 号議案 平成 30 年度事業計画書 第 4 号議案 平成 30 年度収支予算書と資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類	可決 可決

b 協議事項

開催年月日	件名	備考
平成 29 年 10 月 31 日	協議事項① 平成 30 年度事業計画作成に伴う協議	

c 報告事項

開催年月日	件名	備考
平成 29 年 5 月 31 日	報告事項① 平成 28 年度事業報告 報告事項② 運営組織及び事業活動の状況の概要等について 報告事項③ 寄付金等特定資産の運用の状況について	
平成 29 年 10 月 31 日	報告事項① 臨時職員取扱要綱の一部改正について	
平成 30 年 2 月 27 日	報告事項① 嘱託員の設置に関する要綱の一部改正について	

※その他の報告事項は含みません。

(ウ)監査

開催年月日	監査事項
平成29年5月10日 決算監査	平成28年度決算書 平成28年度事業報告書
平成29年11月7日 中間監査	平成29年度収支決算書(上半期分) 平成29年度事業報告書(上半期分)